

先週の金曜日、長縄大会が実施されました。

皆さんは、長縄大会に向けて一生懸命練習に励んできましたね。

この期間、私は皆さんの言葉や行動に触れて感じたことがあります。

それは、「光が丘夏の雲小の子供たちはとても優しい」ということです。

こんな場面を目にしました。

クラスの友達で、何度挑戦しても跳べない子がいました。クラスの子は、その子に対して「今だよ…」と優しく声をかけたり、後ろの子が軽く体を押ししたりしていました。すると、その子は、初めて跳蕪湖とができたのです。そのとんだ姿を見て、クラスの全員が飛び跳ねて喜ぶ姿を見ました。

また、縄に引っかかった子がいました。そんな時は、みんなで「ドンマイ」「大丈夫だよ」と声をかけて励ます姿が見られました。縄に引っかかった子がどれだけホッとしたか…つぎは頑張ろうと思ったか…「ドンマイ」「大丈夫だよ」の一言の大きさを感じました。

長縄大会に向けて取り組んだ期間は2週間でしたが、クラスの団結、協力の大切さ、思いやりの心がさらに深まったことと思います。

ぜひ、頑張った自分を…頑張った友達を…褒めてください。